

山本のぶあき後援会だより *yamamoto nobuaki supporters' association news*

発行／奈良県議会議員 山本のぶあき後援会事務所 榎原事務所 〒634-0834 榎原市雲梯町862-1 TEL.0744-24-0148 FAX.0744-24-0149

新年明けましておめでとうございます。平成二十五年の幕が開きました。今年最初に思つことは、飛鳥時代六四五年の古代史上の一大改革「大化の革新」と、幕末から明治初期の政治的・社会的変革「明治維新」です。表現や時代こそ違いますが、改めて新しくするという共通の意味を持ち、日本にとつて歴史に残る出来事でした。まさに昨年はそんな年がありました。

今年の抱負を語る前に、皆様方に何の相談もなく、昨年十月から年末にかけて自民党を離党し、「奈良維新の会」を立ちあげた私の思いを説明させて頂きたいと思います。最初に自民党離党についてであります。田野瀬代議士から引退するという電話を、昨年十月十日にいたしました。代議士の引退を聞き、自民党を離れました。決意を同時に致しました。



来と自民党改革が合流することが決まりましたが、県議会自民党会派の一本化は達成されず、自民党にいる意義があるのだろうか?とますます思うようになります。しかし、田野瀬代議士との関係から離党など現実的にはできないと思つていたのも事実です。それが、代議士から突然、引退の電話をもらら今まとが蘇り、田野瀬代議士が引退されるのなら私も自民党を離れようと決めたのであります。代議士の引退表明を受けて、自民党としては、選挙が十二月にあるかもしれない(結果的に十二月十六日投票)といふこともあり、すぐに候補者選定をしなければならない。県連と四区とで公募により、十一月四日に党員大会を開いて候補者決定をすることが決りました。公募委員会には、当然四区の県会議員として私も候補者選定の責任者を選びます。候補者のあと自民党を離れることが無く、責任な行動と取らざる公募が

までに離党しようとしたが、田野瀬代議士に伝え、後援会長はじめ、数人の方にご報告をしてから、十月二十三日にしてから、自己を提出させて頂いたのが自民党離党の経緯であります。次に「日本維新の会」に対する私の考えを申し上げます。

結論から申し上げますと、「日本維新の会」橋下代表と維新八策に共鳴したからです。維新との接触の始まりは、昨年五月維新所属の大阪府議員との出会いが最初であります。それまでは、マスコミやツイッターで見聞きしていまして、その時の府議員からの話を聞いて、維新への興味が湧き、その後、維新八策の資料、情報、橋下代表の考え方をつぶさに見るようになり、共鳴するようになります。

その後は会うこともなかなかたのですが、田野瀬代議士引退、私の連絡意を聞いて、大阪維新の幹部の方から十ヶ月七日に、「日本維新の会」参加について話しました。この時、維新本部から、「奈



良維新的の会」を立ち上げてほしいとの強い要請がありました。

「奈良維新的の会」を立ち上げるべく、「奈良県版維新八策」を作成し、その後の話し合いで、維新本部から承諾があり、十月十九日に大阪府庁で、協定書の調印をしたのであります。

「奈良維新的の会」立ち上げに至るまでの私の行動につきましては、短い期間でありますたが、決して予定していたものではないということを信じていただきたいと思います。

自民党議員として、今日まで育てて頂きました。自民党は素晴らしい党であり、自民党に愛着もあります。特に自民党精神である、愛国心は

そのお手伝いをこの奈良から発信して行きました。その後、選挙があり、「日本維新の会」の選挙結果はこのようになりました。引き続き「日本維新の会」「奈良維新の会」議員として、今後も活動してまいりたいと思っています。どうか皆様方におかれましては、ご理解を賜ります。さて、私の今年の一上げれば「初心」です。原点に立ち戻り、私の政治信条である「政治は弱い者の為にある!庶民の為の政治を常に考え行動すること」を改めて胸に刻みます。政黨は変わりましたが、地域の議員の活動について党は関係ないと思っています。これまで元密着の議員となり地元で一生初心」を忘れずて活動してまいりますので、引き続きご指導ご支援を伏してお願い申します。最後になりましたが、今年一年が皆様方にとまります。素晴らしい年になりますことを心よりお祈り申し上げ、挨拶とさせて戴きます。

平成25年
新 春
第50号
飛翔会

初春に

大化の時代 夢を未来に

思 い馳せ 日本の維新

勿論持ち続けています。